

臨床心理学	2年・後期	1単位 15時間	非常勤講師 服部 卓
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32220412

### 1. 授業のねらい・概要

Bio-Psycho-Social Model は精神科だけではなく、様々な領域の患者に対するアプローチとして重要な考え方となっている。臨床心理学では、目に見えない心をどうやってとらえてゆくか、さらに、患者への心理的なアプローチや介入法について学ぶことで、学生自身が看護の仕事に就いた際も広い視点から患者について見てゆけるようにする。

### 2. 学修の到達目標

1. 臨床心理学の基礎的な知識を説明することができる。(D-1)
2. 学生が看護上でも役立つ臨床心理学的な人間の理解の仕方、アセスメントについて説明することができる。(D-2)
3. 学生が看護上でも役立つ臨床心理学的な人間への支援、心理療法について説明することができる。(D-2)
4. メンタルヘルスに対する臨床心理学的な介入法を理解し、学生自身のメンタルヘルスを保つために、どのような具体的な方法を用いるか選択することができる。(D-1)

### 3. 授業の進め方

基本的に講義形式で行い、毎回講義資料としてレジュメを配布する。  
また、適宜、心理検査、講義に関連するワークシートなどを用いる。

#### 【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、心理評価等を含めた体験型授業、対話・議論の採用、ワークシートを用いたリフレクションを用いる。

#### 【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Classroom等による、学習課題や学習教材の提示・配信、学習課題の提出等。

### 4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	私たちの性格とメンタルヘルス	講義	予習：自分の性格について考え、それが自分のメンタルヘルスにどう影響しているか考察する 復習：講義内容に即し、メンタルヘルスに関連する性格傾向をどう変えてゆけるかについてまとめる	服部 卓
2	自己イメージとメンタルヘルス	講義	予習：自分の自信のあるところ、ないところについてまとめてみる 復習：自尊感情が一般的なメンタルヘルスに与える影響を考え、自分が看護の仕事の中でどのような働きかけができるか検討する	服部
3	こころの健康とストレス	講義	予習：今、遺文にとって何がストレスかまとめておく	服部

			復習：予習でまとめた自分のストレスについて、どのような対処ができるか検討する	
4	こころの仕組み 力動的心理学・人間学的心理学	講義	予習：自分の中にある劣等感について考える 復習：劣等感とどう向き合ったらよいか、アドラー心理学から考え直してみる	服部
5	こころの仕組み 学習	講義	予習：自分のもっているソーシャルスキルについてまとめる 復習：ソーシャルスキルをスキルアップするために、看護として介入できる部分をまとめる	服部
6	うつ病と認知行動療法	講義	予習：うつ病への心理的介入方について調べてみる 復習：学習した認知行動療法的な介入方に基づいて、自分の中の考える癖について検討し、どう対処できるかまとめる	服部
7	ポジティブサイコロジー	講義	予習：自分の中のポジティブな面について書き出してみる 復習：自分の持っている5つの「強み」が、どう生活上に助けになるかを考えてまとめる	服部
8	まとめと試験	講義 試験	予習：患者さんに対する心理学的な介入法や、その基礎となる心理学的な考え方についてまとめる 復習：試験で間違えた問題を振り返る	服部

## 5. 成績評価の方法・基準

定期試験 70%，授業参画度（ワークシートなどへの回答）30%

成績評価は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で別途説明する。

## 6. テキスト・参考文献

テキスト：なし 毎回レジメを配布する

参考文献：適宜紹介する。

## 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

上記予習・復習のテーマに基づき、それぞれ紹介する文献などを参考に、自分なりにまとめておくこと（予習・復習それぞれ最低90分程度）。

## 8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的な授業への参加が重要である。遅刻、欠席および授業中の私語、授業中に授業に関連する作業以外の行動は慎むこと。

とくに定めない。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

ワークシート等に関しては、終了後あるいは次回講義時にフィードバックする。

試験内容については、試験終了後に解説する。

**10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

選択科目

**11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される**

総合病院にて臨床心理士，公認心理師として実務している。